

FREE

ご自由にお持ちください。

No.797
2020 February

2

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



「ぎふの木の家フォトコンテスト2019」を開催!



▲最優秀賞: (株) 弘栄工務店

●詳しくは6ページをご覧ください。



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社) 岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
2月14日(金)	令和元年度 岐阜県治山林道 研究発表会	岐阜県内の治山林道事業に携わる技術者が一堂に会し、日頃の研究成果を発表します。	わかくさ・プラザ(関市若草通2丁目1番地) 森林整備課/058-272-8489 治山課/058-272-8526
2月21日(金)~ 2月22日(土)	課題研究公表会	アカデミーでの2年間の学びの総仕上げとして、各自で設定した課題について研究発表を行う。 ●参加費無料 ●当日参加可能	森林文化アカデミー(美濃市曾代88) 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail info@forest.ac.jp URL https://www.forest.ac.jp/
2月23日(日・祝)~ 2月24日(月・振)	うま森プロジェクト 第2弾~馬と一緒に つくる森のオブジェ~	●内容: かつて山村で当たり前に存在した家畜。特に馬は馬搬・馬耕と言われるように自動車・トラクター等が普及するまで、運搬や農耕作業の中心でした。そんな馬と一緒に森から木を運び、その木でオブジェをつくることを通して、これからの林業や馬の価値について考えます。23日は木の伐採と馬搬の実演見学、馬の世話、24日は馬と一緒に木のオブジェづくり、馬との交流、馬の世話。制作したオブジェは2020年春オープン予定の森林総合教育センター「morinos」への誘導として遊歩道に設置します。 ●時間: 2月23日(日・祝)9:00~17:00 2月24日(月・振替)9:00~15:00 ●対象: 親子/一般 ●定員: 30名程度 ●参加費: 8,000円/人(1名追加につき+2,000円) ※2日目のみの場合5,000円/人 ※2020年春オープン予定の森林総合教育センター「morinos」試行プログラムとして、モニター価格での実施になります。	森林文化アカデミー(美濃市曾代88) 森林文化アカデミー 森林総合教育課 TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail ac.open.college@gmail.com URL https://www.forest.ac.jp/events/horselogging/
3月7日(土)	自分で生活を作るう シリーズ~鹿革ハン ドクラフト~	●内容: 野生鳥獣の恵みはお肉だけではなく。シカの「皮」をなめした「革」を使ってクラフトを行います。革の色・縫い糸の色を組み合わせ、オリジナルの作品を作りましょう。 ●時間: 10時~15時 ●対象: 中学生以上(未成年の場合、保護者同伴) ●定員: 20名(先着) ●参加費: 3,000円 ●制作物: ベンケース もしくはバスケース 希望者は+3,000円でサコッシュに変更可能 ※2020年春オープン予定の森林総合教育センター「morinos」試行プログラムとして、モニター価格での実施になります。	森林文化アカデミー(美濃市曾代88) 森林文化アカデミー 森林総合教育課 TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail ac.open.college@gmail.com URL https://www.forest.ac.jp/events/deer_leather/
3月14日(土)	リラックス・ラン ~森林浴×トレッキング ×ときどき、ラン~	●内容: 森林文化アカデミーの演習林の全長約3kmのコースを、自然観察をしたり五感を使った森林浴を行ったり、ときどきジョギング程度に走ったり…とアクティブに活動します。希望者はスマートフォンの無料アプリを使って脈拍測定などによる活動前後の変化も体験できます。 ●時間: 9時30分~12時30分 ●対象: 一般 ●定員: 15名(先着) ●参加費: 2,500円 ※2020年春オープン予定の森林総合教育センター「morinos」試行プログラムとして、モニター価格での実施になります。	森林文化アカデミー演習林及びその周辺(美濃市曾代88) 森林文化アカデミー 森林総合教育課 TEL 0575-35-2535 FAX 0575-35-2529 E-mail ac.open.college@gmail.com URL https://www.forest.ac.jp/events/relax_run/



イベントカレンダー(一般向け).....	2
100年先の森林づくりシリーズ12 海外へ向けた県産材製品の輸出促進.....	3
北方小学校みどりの少年団が 全国緑の少年団活動発表大会で発表しました.....	3
山の歳時記(174) ハコベⅡ.....	4
森林・林業・木材産業の活性化に関する知事の要望を実施 ぎふの木の家フォトコンテスト2019工務店部門.....	5
清流の国ぎふ森林づくりサポーター現地見学会を開催しました.....	6
「令和元年度全国治山・林道コンクール」 シリーズ②「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎふづくり(10) シリーズ①「森林・環境行政」 羽島市の森林とのつながり.....	7
わかまの森林・環境行政(38) 羽島市の森林とのつながり.....	9
木の香をぎふの施設(83) 瑞浪市立瑞浪北中学校.....	10
山のおしよまほし(343) 人間生活で大発生、コクゾウムシ.....	11
森林と人を活かす知恵(85) そろそろ春の訪れ? 山菜の王様、タラノキの話.....	12
研究コーナー 岐阜県におけるヒノキ根株腐朽病の現状.....	13
普及コーナー 郡上地域の林業普及活動について.....	14
国有林の現場から(40) 七宗町上麻生地区森林共同施業団地(ケーススタディ地区) ニホンシカ食害防除対策講習会兼現地検討会を開催しました.....	16
乗鞍岳の講演会を開催します!.....	17
林業者向けお知らせ.....	17
市況.....	18

岐阜県ニューラルシステム
 FREE
 岐阜県森林・林業

No.797
 2020 February

森林のたより

News of the forest

「ぎふの木の家フォトコンテスト2019」を開催!



表紙●「ぎふの木の家フォトコンテスト2019」工務店部門
の第1回受賞投稿が決定しました!

**100年先の
森林づくり
シリーズ12**

第3期岐阜県森林づくり基本計画(H29~H33)では、望ましい森林の姿へ配置転換する「100年先の森林づくり」、林業経営を重視した「生きた森林づくり」、環境保全を重視した「恵みの森林づくり」に取り組んでいます。これらの取組状況について、隔月連載でご紹介します。

◆国内外への県産材需要拡大プロジェクト

海外へ向けた県産材製品の輸出促進

近年、日本の木材製品の輸出は増加傾向が続いており、県では韓国や台湾、中国を中心に県産材製品の輸出促進に取り組んでいます。

韓国では、2016年9月に発生した地震を契機に日本の木造軸組住宅への関心が高まっており、昨年5月に岐阜県へ韓国の建築技術者を招聘し研修会を開催しました。今年2月には韓国の住宅資材展に昨年に引き続き出展する予定です。

台湾では、2018年11月から台北市の複合型インテリアショールーム内に県内企業6社と共に常設展示場を設置し、昨年7月に建築士向けセミナーを開催しました。11月には商談会と体験イベントを開催し、200名を超える参加がありました。そして、台湾企業2社と県内企業2社との代理店契約も締結することができました。また、12月には台北建材展にも出展し県産材製品の販路拡大に努めています。

さらに、昨年12月に初めて中国・広州の博覧会に県内企業2社と共に出席し、約3,100名が県ブースを訪れ、県産材製品に高い評価を得ました。

今後も、県内企業と販売力の優れた海外企業との連携に取り組み、付加価値の高い県産材製品の輸出を促進してまいります。



韓国技術者研修会(恵那市)



2019選材博覧会(中国・広州)

国内外への県産材需要拡大プロジェクト

県産材を活用した新用途・新製品の研究開発・普及や、首都圏・中京圏等への販路拡大を行うとともに、韓国を中心としたアジア圏への製品・加工品の本格的な輸出を進めるための取組みに対して支援を行い、県産材の国内外への販路拡大に取り組むプロジェクトです。

【県産材流通課 野田 正樹】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-8487 まで

**北方小学校みどりの少年団が
全国緑の少年団活動発表大会で発表しました**

12月14日、沖縄県那覇市パレット市民劇場で開催された第43回全国育樹祭の併催行事である「全国緑の少年団活動発表大会」において、みどりの奨励賞に選ばれた揖斐川町立北方小学校みどりの少年団の河瀬明莉(かわせあかり)さん、細野礼徒(ほそのらいと)さんが活動発表を行いました。

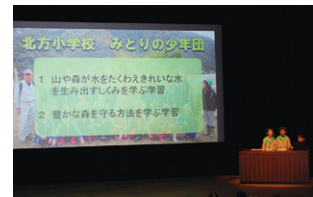
北方小学校みどりの少年団は、4年生がみどりの少年団員となり、「きれいな水を生み出す取組」として、徳山ダム周辺に実のなる木を植えるため、自分たちが育てた苗木をコア山へ植樹する活動を続け、また、「豊かな森林を守る方法を学ぶ学習」では、みんなで力を合わせて間伐や枝打ち体験を行っています。

発表した二人は、こうした活動を通じて、「豊かな森林やきれいな水を守っていきたい」と大きな声で元気よく発表しました。揖斐川の上流に位置する地域にあって、地域の人達の協力も得ながら、力強く少年団活動を続けていく姿に会場からは大きな拍手をいただきました。

翌15日の第43回全国育樹祭では、「みどりの贈呈」で沖縄県のみどりの少年団が育てたガジュマルの苗木を贈られました。苗木とともにみどりの少年団の皆さんが健やかに成長されることを願っています。



団旗の入場



活動発表開始



質問に回答(河瀬さん、細野さん)



表彰(3番目が北方小学校)



全国育樹祭でのみどりの贈呈
(ガジュマルの苗木)



イーサー君といっしょに

[公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎 隆司]



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

今回もハコベの話をしします。

ハコベの名について、古名のハコベラに由来することを前回紹介しましたが、他にも数多くの別名があります。

例えば夜には閉じていた小さな白い花が、朝日を受けて盛んに開くことを意味する「朝開け」が転訛した「アサシラゲ」、ウサギを捕らえる罠（わな）の餌や飼育用の餌としたことに由来する「ウサギグサ」、捕らえたスズメの餌とした

「スズメグサ」などがあります。

私が最も馴染みある呼び名は「ヒヨコグサ」で、実際に今から40年以上前に、「このヒヨコグサの図鑑名はなんですか」と聞いたことを思い出させてくれるのですが、なんと英語でもヒヨコの雑草を意味する「chickweed」と言うのです。

ここで言うヒヨコとは、ニワトリの子どもを指すのでは無く、小鳥を総称した呼び名です。俳人であり歌人であった正岡子規も「カナリヤの 餌に束ねたる はこベ哉（かな）」と詠んで実際に餌として与えていたようです。

ハコベはタンパク質やビタミンB、Cなどに富む野草として七草粥に入れられ、生薬では繁縷（はるろう）と呼んで、利尿や浄血、催乳などに用いられます。

また民間療法では気管支炎やリウマチ、関節炎に効果があるときれ、時にはダニによる疥癬（かいせん）の治療にも用いられました。昔は、ハコベを炒って粉にし、

塩を混ぜて歯磨き粉に使っていました。大阪の医師であった寺島良安が編集した挿絵入り百科事典『和漢三才図絵（1713）』には、「生のハコベをしぼってとった青汁を、塩とともにアワビの貝殻に入れて焼き、乾けばまた青汁を加えるということ七度におよぶ、…」という意味の記述があり、これを指先につけて歯を磨いたようです。

昨年このことを知人に話したら、現在大阪で販売されている「はこべ歯磨」を見つけて送ってくれました。

ハコベは私たちにはなじみが深く、日本でも中国でも民間薬として利用されてきましたが、その有効成分については充分わかっていないのが現状です。

さて、前回紹介したようにハコベ（*Stellaria media*）は冬でも日当たりの良い場所では、小さな白い花を咲かせます。近づいてよく見ると、花の形は星形をしており、属名の *Stellaria* もラテン語の

「stella（星）」が語源となっています。花卉は一見10枚のように見えますが、実際は5枚で、1枚の花びらが根元まで2つに深く切れ込んでいるのがわかります。

寒い冬、その寒さに負けずひっそりと咲くハコベの観察に出かけてみて下さい。



▲市販されている「はこべ塩歯磨」

森林・林業・木材産業の活性化に関する 知事への要望を実施

—100年先の森林づくりを實行し 林業・木材関連産業を岐阜県の成長産業とするために—

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム（以下、コンソーシアム）では、去る12月18日（水）に岐阜県庁において、岐阜県知事に対して林業・木材関連産業の活性化などに関する全45項目にのぼる提案・要望を行いました。

岐阜県議会林業活性化促進議員連盟会長の村下貴夫県議会議員の挨拶の後、涌井史郎理事長から古田肇知事へ要望書を手渡し、要望の主旨説明を行いました。続けて、各分野を代表して林業関連5団体（（公社）岐阜県山林協会・岐阜県森林組合連合会・岐阜県木材協同組合連合会・（一社）岐阜県林業経営者協会・（一社）岐阜県森林施業協会）の会長から、下記の提案・要望項目について内容の説明が行われました。

古田知事からは、「担い手の確保・育成は全県的に大きな課題であり、取り組みを進める」、「オリンピック・パラリンピック関連施設への岐阜県産木材の活用などをアピールし、木材需要の拡大に努める」、「今回の要望を受けて、来年度予算で対応できるような対策を考えていきたい」などの回答をいただきました。

今後もコンソーシアムでは100年先の森林づくりを見据え、岐阜県の林業・木材関連産業を成長産業とするために鋭意取り組んでいきます。



▲ 要望を行うコンソーシアム理事長ら（奥）と知事および林政部幹部職員（手前）



▲ 涌井理事長から古田知事へ要望書を手渡しました

提案・要望項目

① 人材の育成と活用

- 市町村林業行政等への支援強化
- 森林・林業に対する県民理解の醸成
- 担い手確保・育成に関する予算の確保・施策の推進

② 森林整備及び木材生産の推進

- 間伐及び主伐・再生林の推進
- ニホンジカ等による森林被害防止の総合的な対策の充実
- 木材生産の効率化

③ 木材産業の活性化

- 木材の安定供給及び製材工場の体制強化
- 多様な分野への木材利用の推進
- 新製品・新技術の開発促進



▲ 要望に対しコメントを述べる古田知事



▲ 要望内容について説明する涌井理事長



提案・要望内容の詳細についてはコンソーシアムHP (<https://www.forest.ac.jp/company/consortium/>) においても公開しております。



▲コンソーシアムHP

【岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム事務局】（岐阜県立森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター 産学官連携係）

● 詳しい内容を知りたい方は TEL 0575-35-2535 森林技術開発・支援センターまで

ぎふの木の家 フォトコンテスト2019 工務店部門

県では、家づくりを考える際に、若い世代を中心にSNSが活用されている現状を踏まえ、昨年度に引き続きInstagramを活用した「ぎふの木の家フォトコンテスト2019」を2部門（工務店部門・施主部門）で開催しました。

このたび、工務店部門の第1回受賞投稿を紹介します。受賞投稿は、県産材流通課Instagram公式アカウント「@gifu_kensanzai」で紹介しています。

■【工務店部門】第1回受賞作品（8～9月投稿から選定）

最優秀賞（1作品）



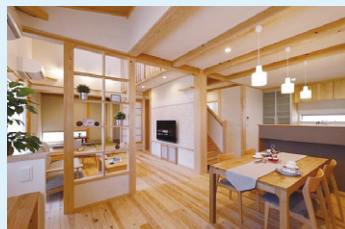
（株）弘栄工務店 [下呂市]

Instagram

@gifu_kensanzai
#ぎふの木の家



優秀賞（2作品）



（株）中島工務店 [中津川市]



（株）白木工務店 [郡上市]

優良賞（1作品）



（株）鷺見製材 [岐阜市]



公式HP▶



ぎふの木の家 フォトコンテスト2019 検索

【問い合わせ先】 ぎふの木の家フォトコンテスト事務局（岐阜県林政部県産材流通課） TEL:058-272-8487

清流の国ぎふ森林づくりサポーター 現地見学会 を開催しました

県では、県民協働で森林づくりを推進するため、県施策に対して、ご意見・ご提案をいただくことを目的に「清流の国ぎふ森林づくりサポーター（以下、「サポーター」という。）」を設置しています。また、サポーターの方々に、森林づくりに関する見聞を広め、県施策への理解を深めていただくため、平成29年度から現地見学会を開催しています。

今年度は11月28日（木）に岐阜県木の国・山の国県民会議の視察と併せて開催し、合わせて11名の方にご参加いただきました。「ぎふ木育ひろば地域支援拠点」に認定している中部学院大学子ども家庭支援センター「ラ・ルーラ」（各務原市）では、岐阜県のもで作ったおもちゃを使った保育活動の視察を通じて、県が進める「ぎふ木育」への理解を深めていただきました。また、既存の治山施設を改修し、防災機能を高めた治山工事現場（岐阜市）では、普段目にするのがない森林内での防災工事の視察を通じて、山地災害のリスクや事前防災の重要性への理解を深めていただきました。こうした視察及び視察後の意見交換会では、県の施策やサポーター活動への提案など、様々な意見が交わされました。

県では、今後とも、サポーターの方をはじめ、県民の皆さまとともに、100年先の森林づくりに取り組んでまいります。



子育て支援施設の見学



治山工事現場の見学

「清流の国ぎふ森林づくりサポーター」を募集

県では、県の施策に対して、ご意見・ご提案をいただける方を募集しています。詳しくは、県林政部林政課ホームページをご覧ください。

清流の国ぎふ森林づくりサポーター

検索

応募方法

応募用紙※に必要事項を記載いただいた上、県林政部林政課政策企画係宛て、送付してください。

送付先

岐阜県林政部林政課政策企画係
〒500-8570 岐阜市葦田南2-1-1
メール:c11511@pref.gifu.lg.jp FAX:058-278-2702

（※）応募用紙は、県林政部林政課ホームページからダウンロードすることができます。FAX等により送付させていただくことも可能です。

【林政課 西尾 雄介】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3019) 林政課政策企画係まで

「令和元年度全国治山・林道コンクール」
「令和元年度山地災害防止写真コンクール」の表彰

令和元年度（一社）日本治山治水協会及び日本林道協会主催の「治山・林道コンクール」の各部門と（一社）日本治山治水協会主催の「山地災害防止写真コンクール」の岐阜県の受賞者は次のとおりです。おめでとうございます。（敬称略）

第35回民有林治山・

林道工事コンクール

林野庁長官賞

公共復旧治山事業 手掛岩2工事

株式会社 立保 安江 将利

日本林道協会会長賞

地方創生道整備交付金事業

三森山（5）-2線

株式会社 矢野土木 矢野 克也

第42回林道維持管理コンクール

林野庁長官賞

林道 高山～八幡線

郡上市長 日置 敏明

第20回民有林治山木材

使用工事コンクール

（一社）日本治山治水協会会長賞

復旧治山事業 奥谷地区工事（補正）

西濃農林事務所 白井 康二

第20回民有林林道木材

使用工事コンクール

日本林道協会会長賞

地方創生道整備交付金事業

林道 白尾～鷺見線（4工区）

郡上農林事務所 林務課

令和元年度山地災害

防止写真コンクール

（一社）日本治山治水協会会長賞

郡上市 高原 守

「治山事業で蘇った緑と溪流」

【山林協会 瀬上 繁隆】



林道 高山～八幡線



地方創生道整備交付金事業
三森山(5)-2



公共復旧治山事業 手掛岩2工事



治山事業で蘇った緑と溪流



地方創生道整備交付金事業
白尾～鷺見線(4工区)



復旧治山事業 奥谷地区工事(補正)

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

10

平成24年度より県民みんなで豊かな自然環境を守る仕組みとして導入した「清流の国ぎふ森林・環境税」は、平成33年度末まで5年間延長されました。税活用事業の内容も見直しをしましたので、新しい内容の事業を含め連載で紹介します。

生態系保全市町村支援事業

市町村が行う里地里川の生態系保全の取組みを支援し、県内の里地における生態系保全を推進しています。

【令和元年度事業概要】

- ①対象事業者：市町村
- ②事業内容：農業用水路内におけるスクミリンゴガイ（通称：ジャンボタニシ）の駆除など、里地里川の生態系保全に取り組む市町村を支援します。
- ③補助金額：事業に要する経費の1/2以内の額（ただし、1市町村あたり上限1,000千円）

【平成30年度 事業実施市町一覧】

7市町に支援を行い、12.24tのスクミリンゴガイの駆除が進みました。

実施市町名	事業費（千円）	森林・環境税（千円）	捕獲数量（スクミリンゴガイ）
各務原市	6,750	1,000	1.79t
瑞穂市	1,821	911	4.21t
笠松町	716	358	0.34t
岐南町	743	371	0.20t
本巣市	2,082	1,000	1.10t
輪之内町	2,113	1,000	2.93t
安八町	168	84	1.67t
合計	14,394	4,724	12.24t

【平成30年度 駆除活動の様子】



水路での駆除作業状況
（輪之内町）



駆除したスクミリンゴガイ
【通称:ジャンボタニシ】（本巣市）

羽島市の森林とのつながり



まちの概要

羽島市は岐阜県の南部に位置しています。市内全域に渡って高低差のない平坦地域で、清流木曾川・長良川に挟まれたかつての輪中地域のため、日常的に森林を意識することはありますが、ふと周りを見渡すと、伊吹山や養老山地などをのぞむことができ、意外に山の緑が身近にあることに気づかされます。

清流と森林

市の東側、愛知県との境を流れる木曾川は、国土交通省木曾川上流河川事務所が平成20年に実施した「河川水辺の国勢調査」等において、国の天然記念物である「イ



タセンバラ」の生息が15年ぶりに確認されたことで注目を集めました。

イタセンバラはコイ科の淡水魚で、「板（イタ）」のように平らで、繁殖期に「鮮（セン）」やかな紫色のお腹（バラ）になることが名前の由来です。また、イタセンバラは卵を二枚貝に産み付けますが、さらにその二枚貝の幼生が他の魚に寄生するなど他の生物との結びつきが強く、「生物多様性」を体現する生き物ともいえます。



伊吹山頂上 木曾川イタセンバラ保護協議会
パトロール実施

かつては濃尾平野の多くの水系に生息していたイタセンバラですが、現在では国内希少野生動物植物種、国のレッドリスト絶滅危惧ⅠA類に指定されています。数が減少した原因としては、密漁や生息環境の悪化、外来種の影響などが考えられますが、近年、関係団体とともに加盟

使って守る

森林の持つ公益的機能を発揮させるためには、「植える↓育てる↓伐る・使う↓植える」という健全なサイクルを維持する必要がありますが、森林のない当市ではこのサイクルの一翼を担うため、「使う」ことをメインに取り組んでおりますので、その一部をご紹介します。

① 中学校武道場整備

「清流の国ぎふ森林・環境基金事業補助金」を活用し、市内で唯一、武道場が整備されていなかった学校の武道場を整備しました。床には傷に強く耐摩耗性を



に優れた岐阜県産の桧圧密材が、また、内壁にも岐阜県産の桧が使用されており、快適な環境で柔道や剣道に励むことができます。

② 社会福祉施設整備

「清流の国ぎふ森林・環境基金事業補助金」を活用し、NPO法人が生活介護や児童発達支援事業を行う施設を整備しました。岐阜県産材をふんだんに使用した空間には木質ペレットストーブもあり、木の香りとぬくもりに包まれ、ゆったりと過ごすことができます。



森林がもたらしてくれる恵みを将来にわたって享受できるよう、今後とも環境保全にかかる活動や公共施設等における木材の使用を促進してまいります。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 058-330621-60952(代)

羽島市役所農政課まで

瑞浪市立瑞浪北中学校

瑞浪市土岐町973番地



施設全景

施設概要

事業年度	平成30年度
事業主体	瑞浪市
構造・延床面積	校舎：地上3階建（一部2階建）RC造、屋根木造 延床面積6,341㎡（内装木質化面積 3,699㎡） 体育館：地上2階建 RC造、一部鉄骨造 延床面積1,598㎡（内装木質化面積 1,073㎡）
施設用途	中学校
木材使用量 使用樹種	床、壁：100.6㎡ スギ・ヒノキ（岐阜県産材） 屋根・梁：150㎡ カラマツ（長野県産材）
全体事業費	33,391,200千円
助成額	40,730千円 木の香る快適な公共施設等整備事業
設計者	株式会社 日建設計
施工業者	岐建・中島・青協特定建設工事共同企業体
工期	平成29年6月～平成30年12月

施設の経緯

瑞浪北中学校は、瑞陵中学校、日吉中学校、釜戸中学校の3校が統合して開校した中学校です。また本校は、文部科学省のスーパーエコスクール実証事業に採択され、省エネルギーと創エネルギーにより、エネルギーの消費量を実質ゼロにする取り組みを進めています。

構造は鉄筋コンクリート造ですが、屋根は木造で梁を現しとし、岐阜県産材で内装木質化を施したことで、木に包まれた柔らかく快適な空間を実現しました。校内のどこにいても木を感じることができ、生徒や教職員だけでなく、地域からも愛される学校になっています。



授業の様子



木製パーテーション

ここに注目!!

多目的室は、連続する梁の現しと床材・壁材との調和が見事で、暖かみのある落ち着いた空間となっています。また、木製のパーテーションにも岐阜県産材が用いられており、授業等で活用されています。

利用者の様子

校舎と体育館の内装で使われている木のほとんどが岐阜県産と聞いて驚いている。校舎、体育館のどこにいても木を感じることができ大変気持ちが良い、という声をいただいています。



多目的室

■問い合わせ先
瑞浪市教育委員会教育総務課
TEL 0572-68-9831



山のおじゃまむし



一人間生活で大発生、コクゾウムシ【第343回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

かつてコクゾウムシは米の大害虫であった。幼虫が米を食べるからである。米の上を動き回るコクゾウムシ。年配者の多くは目にしているであろう。私自身、何回も見ているが、忘れられないのが結婚直後に我が家に発生した時のこと。「気持ちが悪い」と女房、「処分したら」と私、「食べるよ」、「なぜ」、「もったいないから」。こんな話しをした。我が家ではよく「もったいない」という言葉を使うが、ここが出発点。そんな気がする。私には、こんな笑えるような思い出のある虫なのである。ところが、このコクゾウムシは年々少なくなり、今ではほとんど見ることが出来ない。いつの間にか希少種となったのである。このままではレッドデータブックに掲載されるのではないか。こんなことを思ってしまう。しかし、そのコクゾウムシは私の標本箱に18匹しか入っていない。いつでも採れると思っていたからである。「もっと採っておけばよかった」と思うものの、後の祭り。農家や精米業者には悪いが、今はコクゾウムシが大発生することを願っている。しかし、30年近くも目にしていないコクゾウムシが現れるはずがない。夢のまた夢だと諦めている。そこで、このことを多くの人に知ってもらおうと原稿にして提出した。(本誌336回)

× × × ×

原稿を提出してから2週間後の5月初旬、ある人が私を訪ねてきた。「この虫は何でしょうか」とビニール袋を渡された。中には褐色の小さな虫がたくさん入っていた。すべて死亡していた。体の色や形、大きさからコクゾウムシだと思った。しかし、この虫だとは言えなかった。高齢で目が悪くなり、小さな物はよく見えないからである。虫の名前は後日知らせることにし、虫のいた場所の状況を聞いた。見つけたのは4月中旬、空き家になっている実家の床にたくさんいた。ほとんど死亡していたが、生きている物もわずかに見られた。床の虫を取り除いたものの、10日後には再び同じような状態になったとのこと。しかし、その後は発生していないと言いながら、その発生時の状況をスマホの画像で見せてくれた。そこには小さな虫が床全面に散らばり、所々で黒い塊となっていた。その数、数千、いやそれ以上ではないかと思った。とにかく多かったのである。ここは1年以上空き家で人は住んでいないという。当然、米など無いので、別の虫ではないかと顕微鏡で大写しにした。目に映ったのはコク



▲床で死亡しているコクゾウムシ

ゾウムシ。喉から手が出るほど欲しかった虫なので嬉しくなった。

× × × ×

では、なぜこの家にいたのか。それを知りたかった。その人にコクゾウムシだと連絡し、この家と近所の状況を聞いた。虫がいた家は空き家で閉めっぱなしであるが、壁を接している隣には人が住んでいるという。となると、この家で発生した虫が侵入してきたのだ。これしか考えられなかった。その人には「隣から侵入してきたのです」と答えた。これで一件落着。しかし、あれだけの虫がわずかの隙間から侵入してきたのだろうか。こんな疑問が残った。それにしても30年近くも見ていないコクゾウムシが、今になって何故私の目の前に現れたのか。不思議だった。これは神様のお陰だと思ったものの、いや違う。ある人が助けてくれたのだと思い直した。と言うのは、ある人とは知人のS氏。本誌の編集責任者だ。執筆者のことはよく把握している。当然、私が原稿のネタ不足で困っていることを知っているはずだ。だから、ネタを提供してくれたのだと感謝している。

× × × ×

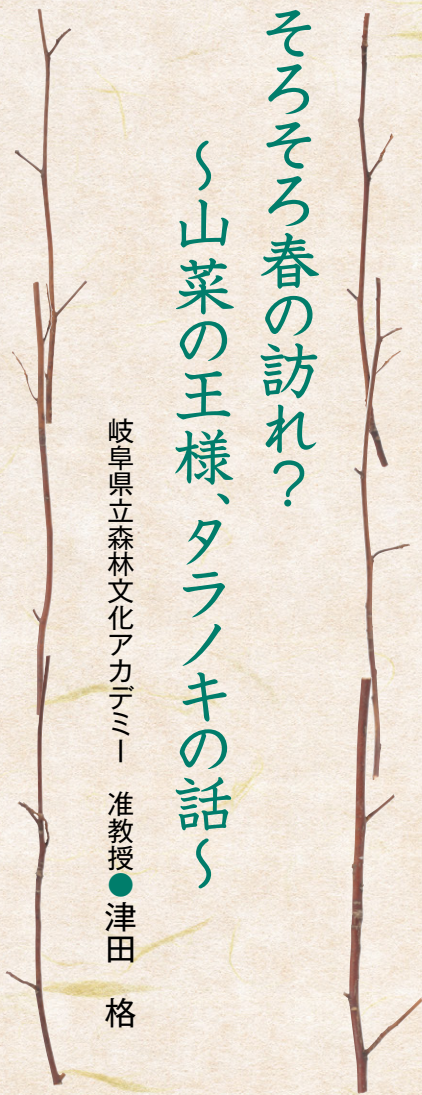
さらに、このドラマは続いた。それから4ヶ月後の9月、今度は同じ職場のSM氏からコクゾウムシを頂いたのである。SM氏は、私の電話を聞いていたので、コクゾウムシは頭に残っていたという。それが家の米に発生したので、持参したとのことであった。コクゾウムシは30匹ほどで、ポリカップの中で動き回っていた。SM氏は次のように話された。米は昨年12月に農家から玄米を購入した。それを自宅で保管し、7月に精米にして食べ始めた。この時はいなかったが、2ヶ月過ぎた9月頃から見られるようになった。それが次々と発生してきたので、米を袋から出して天日に干したところ、2日後にいなくなったとのこと。この話から、私は次のように想像した。このコクゾウムシは精米にする前の玄米に野外にいた成虫が侵入してきて産卵した。孵化した幼虫は米の中身を食べて成長し、1ヶ月後には成虫となって野外へ出て行き、そのまま冬を越す。そして、翌年イネ科植物の実(イネの場合は玄米)に産卵するという過程だ。それは本来のコクゾウムシは年1回の発生で、越冬した成虫しか産卵しないからである。しかし、家庭のコクゾウムシは年中見られるので、年に何回も発生すると思われるのであろう。米びつに残った成虫は、ここで死亡する。だから大発生するのは人間生活の中だけなのである。これを確かめるため、現在このコクゾウムシを飼育しているので、この結果が楽しみだ。それにしてもこの原稿が書けたのはS氏のお陰。今は神様に思える。S大明神。ありがとう。



そろそろ春の訪れ？

山菜の王様、タラノキの話

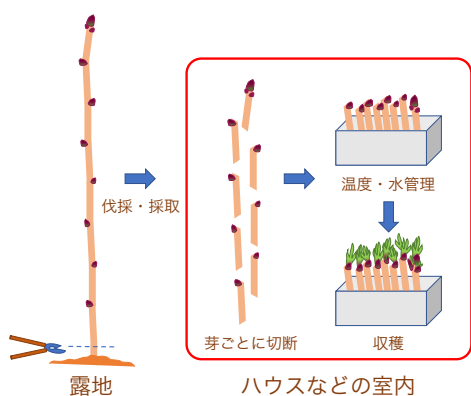
岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ● 津田 格



寒い日が続き、春が待ち遠しい人も多いのではないのでしょうか。そんな中、スーパーなどの野菜売り場では一足早く山菜類が並びはじめています。特によく目にするのは山菜の王様とも称されるタラノキの新芽、「たらの芽」です。しかし、まだ寒いこの時期に山の中でたらの芽を探しても、その芽は収穫できるほど膨らんではいないはずで

す。お気付きのように、この時期に売られているたらの芽は促成栽培されたものです。しかし、成長が早くすぐに大きくなるタラノキを株ごと温室で育てるには、コストもスペースも必要です。そのため、タラノキの株は通常は露地で育てられています。そして、まだ寒い時期にそれらの株から幹を伐採・採取し、ハウスなどで温度を保って芽を出させるのです。その際、長い幹のままで使うと露地と同じように最初は先端の芽(頂芽)しか膨らみません。これは頂芽優勢と言って、頂芽で作られたホルモンの作用により下の芽(側芽)の成長が抑えられているため

す。頂芽を収穫するとその抑制が外れ、2番目の側芽が膨らみます。そのままから順に収穫することもできますが、収穫時期がずれてしまいます。そこで、収穫の時期を揃えるために、数多くある側芽の上で幹を切り分けていきます。この操作により個々の側芽は頂芽優勢の支配から逃れ、満遍なく芽が膨らむのです(図)。このようなたらの芽の栽培方法を「ふかし栽培」と言います。



タラノキの「ふかし栽培」の流れ

この方法は挿し木に似ているように思えますが、発根させるわけではないので、芽の収穫は一回限りです。そう聞くと破壊的な方法に思われるかもしれませんが、心配ありません。伐採した元株からは新たに萌芽(ひこばえ)が出てきて、来シーズンには再び収穫できるサイズになるからです。また、この方法ではタラノキ特有の棘が作業の邪魔になるため、通常は棘のない品種が使われます。棘のある野生種でも同様の方法で収穫できるので、機会があれば試してみてください(ただし野生種の場合、一定期間の寒さを経ないと芽が動き出しません。時期が早すぎると芽が膨らまないで、3月以降に行うのが無難です)。

に生えるアカメガシワなども同様の繁殖生態を持っています。この性質を利用して、掘り取ったタラノキの根を短く切って植え付けると新たな株が簡単に作れます(この方法を根挿しと言います。鉛筆ほどの太さの根を長さ15cm位に切ると成功しやすいです)。大きめの植木鉢などで育てることもできるので試してみてください。



▲自然下で根萌芽により増えているタラノキの子株(矢印)

森林文化アカデミーでは特用林産物に関連する学びとして、毎年、タラノキの繁殖生態の観察、根の採取、根挿しを実施しています。タラノキは、山の恵みを利用するのに樹木の生理・生態の知識が役立つことを理解する良い素材となっています。

(注)山には所有権があり勝手に山菜などを採ることはできません。自分の土地以外は所有者の了解を得るなどして採取するようにしましょう。



原因は木材腐朽菌類で(図2)、これまでに複数種が判明しています。樹体内への侵入経路は、枯死根や根の傷、地際の樹幹傷(図3)といわれています。



図1 ヒノキ根株腐朽病の被害

ヒノキ根株腐朽病とは、価値が高く材積の最も大きい根元部分が腐朽する病害です(図1)。

ヒノキ根株腐朽病とは

岐阜県におけるヒノキ根株腐朽病の現状

森林研究所 ● 片桐 奈々



図3 地際の傷から侵入した腐朽被害

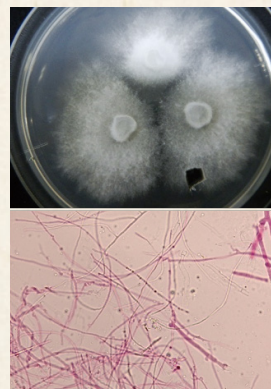


図2 被害木から分離した木材腐朽菌

ヒノキは罹病しても枯死はしません。が、そのまま放置すると樹体内で腐朽が拡大したり、周囲の健全木に伝播する恐れがあります。防除には、被害木の早期発見・伐採・搬出が有効と考えられます。

岐阜県の被害発生状況

効率良く防除を行うためには、被害地域や発生程度を把握することが重要です。そこで県内の被害発生状況を把握するため、間伐・皆伐地62林分で、根株断面の腐朽状況を調査しました。

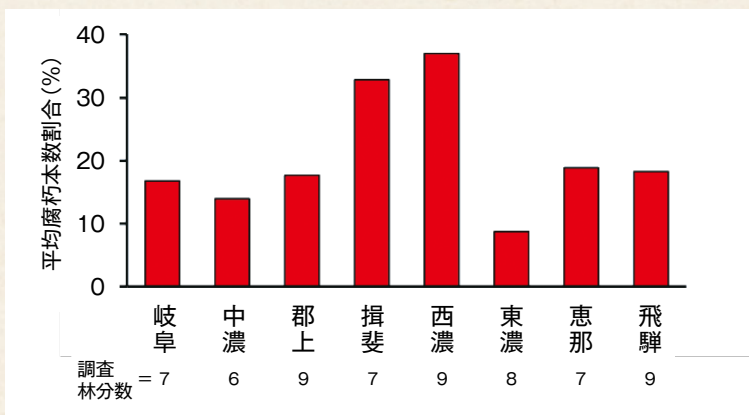


図4 地域別の平均腐朽本数割合(%) 可茂、下呂地域は未調査

その結果、60林分で被害が確認されました。地域別の平均腐朽本数割合は最も低い東濃でも9%で、最も高い西濃では37%に達しました(図4)。特に割合の高かった揖斐と西濃の腐朽

の侵入経路は、揖斐は約半分が、西濃は約4割がシカの剥皮害痕でした(図5)。



図5 シカ剥皮害痕から侵入した腐朽被害

今後は、未調査地域の発生状況についても把握し、被害木の早期発見に資するため、県内の全調査データをもとに、被害が発生しやすい条件(侵入経路の種類や環境、地形等)を明らかにしていきます。



● 詳しい内容を知りたい方は

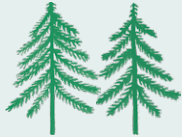
TEL 0575-1331-2585

森林研究所まで



郡上地域の林業普及活動について

～郡上地域の林業成長産業化を目指して～



■郡上農林事務所 林業普及指導員 和田 将也

郡上普及指導区が管轄する郡上市は、清流長良川の上流部に位置し、森林面積92,418ha(森林89・7%)と抱負な森林資源を有しています。

郡上普及指導区では、この豊富な森林資源を活かし、地域林業の成長産業化を実現するため、林業事業者への助言指導、郡上森林マネジメント協議会(平成31年2月15日設立。以下「郡上マネ協」)の活動支援など、様々な林業普及活動を展開しています。

今回は、そのうち2つの活動についてご紹介します。

郡上地域の木材生産の現状及び課題について

郡上地域には、木材生産を担う林業事業者が20社あり、伐採専門チーム28班・森林技術者109名が従事しています(令和元年度伐採専門チーム調査・郡上農林事務所調べ)。そのうち、プロセッサ等造材機を使っているのは16班で、全体の57%となっています。

プロセッサ等造材機は、最も生産効率が高い機械であり、作業システムの効率を上げることが木材生産量の増大に繋がります。

同機の導入には、次の利点もあることから、郡上普及指導区では林業事業者へのプロセッサ等造材機の導

入を積極的に進めています。

①全木集材し、プロセッサで造材・枝払いを行うため、労働災害の軽減に繋がる。

②全木集材にすることで、梢端材・枝条や打ち出し材が集まるため、D材の活用が容易となる。

③伐倒・集材後に林内に残る梢端材・枝条等が少なくなることで地拵え作業が省力化できる。



▲生産性向上実現研修(工程表作成)

現状の28班の伐採専門チーム全てがプロセッサ等造材機を導入し、地域内の生産性の高い林業事業者と同等レベルに到達できれば、郡上地域全体の木材生産量は現状のおよそ2倍の20万m³を超え、地域の人工林年間成長量に迫ります。

プロセッサ等造材機の活用は、林業事業者の経営が安定するだけでな

く、森林所有者への高い利益還元が実現できるため、主伐・再造林の推進も期待できます。

地域林業の成長産業化を実現するためには、林業事業者の木材生産性向上が最重要課題と考えています。

林業事業者生産性向上実現研修について

前述の課題解決のため、令和元年度から林業事業者生産性向上実現研修を行っています。

郡上農林事務所が研修全体のコーディネートを担い、講師は郡上マネ協の樋口事務局長にお願いしています。

初年度は、大塚林業合資会社、有限会社大原林産、郡上森林組合の合計3社が取り組んでいます。



▲生産性向上実現研修(OJT)

研修内容は、生産性及び安全性の改善に向けたPDCAサイクルを伐採専門チーム自ら回していけるようになることを目標とし、作業工程表の作成・分析の講義と生産現場においてOJTを実施しています。

今回は、研修の全行程を修了した大塚林業合資会社の取り組みについてご紹介します。

大塚林業合資会社は、これまで集材機あるいはラジキヤリによる集材とチェーンソーによる造材・枝払いを行っていましたが、高能率作業システムを導入したいとの相談を受け、目指す作業システムに適した機械の種類と機種選定の検討を他社の現場を見学するなどして行い、スイングヤーダとプロセッサを導入しました。

研修では、はじめに伐採専門チーム自ら作業工程表を作成しますが、ここで難題に直面しました。

高性能林業機械を活用した集材、造材等の各工程を組み合わせると、処理速度が遅い工程と速い工程に相当な開きがあり、課題として準備した事業地では面積が小さいことが分かりました。

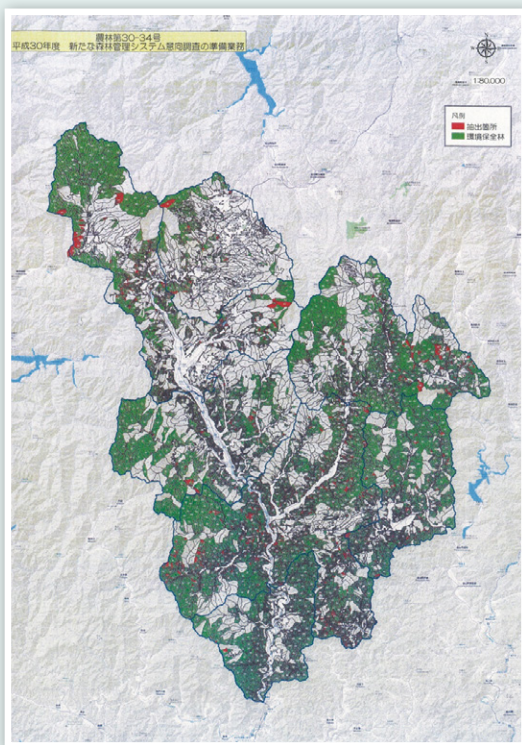
その結果、高性能林業機械の能力を発揮させるための条件は何なのかに気付き、高能率作業システムの導入に向けた適正規模の事業地確保について理解が深まりました。

この間の木材生産性は4.5 m³/人・日という結果となり、これまでの同社の生産性に対して2倍以上の結果となりました。

また、研修最終日のミーティングでは、プロセッサを初めて操作した森林技術者の一人から、「詳しくはまだ分からないが、自分たち一人一人が会社の経営を意識してチームとして同じ気持ちで毎日、一本一本の木を伐らないといけないことが分かった」という発言があり、同社におけるPDCAサイクルが少しずつ回り始めました。

森林経営管理制度に基づく 森林所有者の意向調査

2つ目の活動は、森林経営管理制度に基づく森林整備の取り組みです。



▲意向調査対象地の抽出箇所
(緑色:環境保全林
赤色:森林経営管理法対象地)

郡上市では、適切に経営管理ができていない森林で、整備を進める候補地を次の3つの観点から37箇所に絞り込みました。

- ①郡上市森林ゾーニングにおいて環境保全林であること。
- ②森林経営計画をこれまで策定したことのない森林であること。
- ③過去10年間、森林整備の実績がないこと。

今年度は37の候補地のうち、2箇所について経営管理集積計画の作成に着手しました。

市と計画作成の委託先である郡上マネ協、郡上農林事務所の3者が連携し、対象地域の所有者調べ、林況調査、制度説明会、アンケートを実施

施しました。

制度説明会では、安心して暮らせる地域づくりのため、地域の森林を整備する必要があると説明したところ、所有者からは理解が得られ、アンケートも大半の所有者が市あるいは森林組合などの林業事業体へ整備を任せたいとの意見でした。



▲集落説明会(意向調査)
CS立体図と災害ハザードマップを使い森林整備の意向を調査

現在、意向調査の結果を取りまとめ中で、今後は具体的な森林整備計画(案)を示し、経営管理集積計画の作成を進めていく予定です。

こうした取り組みは、前例がなく全てが手探りの状態ですが、市、郡上マネ協、県が連携して事業を推進しています。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-1671-1111(内線750)

郡上農林事務所まで

七宗町上麻生地区森林共同施業団地 (ケーススタディ地区)ニホンジカ食害 防除対策講習会兼現地検討会を開催しました

伐採跡地や造林されたばかりの幼齢造林地などはニホンジカが集まりやすく、国有林においても、主伐・再造林を行う際には、植栽された苗木への食害防除策が必須と言っても過言ではありません。

しかし、行政機関における各種施策の採択時には、その緊急性（優先順位）の高低や、費用などが厳しく吟味されます。時として『ニホンジカ対策は必要ではあるが、施策としての緊急性が乏しいし、お金もかかるので後回し』となっているのが実情だと思われれます。地域の森林づくりを進めるにあたり、本当に、これで大丈夫なのでしょうか？

今般、七宗町上麻生地区森林共同施業団地に設定されているケーススタディ（事例研究）地区において、県内の林業関係者等を対象とした、民国連携によるニホンジカ食害防除対策講習会兼現地検討会を開催しました。

この取り組みは、平成29年度から岐阜森林管理署と中部森林管理局森林技術・支援センターとの共催により毎年実施しているものですが、本年は、岐阜大学応用生物科学部から森林動物学が専門の安藤正規准教授、池田敬特任助教のお二人をお迎えして、大幅にスケールアップしての開催となりました。



▲岐阜大学 安藤正規准教授の講義

当日は、市町村および県の農林行政担当者28名を含む総数70名の参加を得ることができました。



▲民・国70名の参加と活発な質疑で熱気溢れる会場

安藤准教授からは、国立公園等におけるニホンジカによる食害事例が多数報告されました。『行政の（施策決定の）スピードは、シカの被害拡大のそれに追いつけない。そのため、気づいたときには手遅れということもある。』というアドバイスもあり、参加された行政担当者の方々には、『深く静かに進行』しつつあるニホンジカ被害の『危機感』を、しっかりと持ち帰りいただけたと考えています。

また、池田特任助教からは、シカの生態について講義をいただきました。捕獲圧によりシカの行動が変化するデータの紹介もあり、いわゆるスレジカ（捕獲困難なシカ）をつくらないことの重要性も理解することができました。

講義終了後は、岐阜県森林研究所

の大洞智宏専門研究員からニホンジカ防除の事例等について紹介をいただきました。また、屋外に出て、岐阜森林管理署と森林技術・支援センターが七宗国有林内に設置している「獣害対策展示エリア」を視察するとともに、参加者各位の日頃の取り組みなどについて、情報交換を行いました。



▲「獣害対策展示エリア」における情報交換

ニホンジカ食害防除対策には決定打といえるものがないのが現状ですが、「防除」と「捕獲」、いわば守りと攻めの効果的な組み合わせによる取り組みを模索していくことが必要です。今後、民国の関係者が知恵を出し合い、地域一体となったニホンジカ対策を着実に推進していくことが重要だと考えます。

（岐阜森林管理署）

乗鞍岳の講演会を開催します！

中部山岳国立公園の乗鞍岳の山頂付近では様々な調査研究が行われています。一般の人にはあまり知られていない乗鞍岳の世界を専門家の先生方にわかりやすくお話しいただきます。ぜひご来場ください。

講演内容 乗鞍岳のライチョウ、クマの生態、活火山乗鞍岳の歴史、東大の宇宙線研究の歴史、乗鞍岳の地域活性化策、ジオパーク構想

日時 令和2年2月23日（日）10:10～16:30

場所 高山市民文化会館小ホール

料金 無料 **定員** 400人（先着順）

申込方法 ハガキ、FAX、電子メールで、①代表者氏名（ふりがな）、②お住いの市町村、③代表者連絡先（自宅・携帯）、④参加人数（代表者を含む）を記載して、県庁環境企画課自然公園係へお申込みください。

[宛先] 〒500-8570 岐阜市数田南2-1-1 [FAX]058-278-2610 [Eメール]c11265@pref.gifu.lg.jp

主催 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会 **後援** 環境省、林野庁、高山市、県、飛騨山脈ジオパーク推進協議会



環境省提供

【環境企画課 大島、林】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(2698) 環境企画課自然公園係まで

森林・林業関係イベントカレンダー（2月）

林業者向け

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
2月18日(火)～ 2月21日(金)	フォークリフト 運転技能講習 【受講資格】 自動車普通運転 免許所持者	●講習時間 1日目 8:30～16:30 学科 16:30～17:30 学科試験 2～4日目 8:00～17:30 実技・試験 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：32,450円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	学科 伊自良中央公民館(山県市大門912-1) 実技 ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



森林のたより編集委員として「研究コーナー」を担当するようになり、もうすぐ2年が経とうとしています。最新の研究成果を皆様へわかりやすくお届けできるよう取り組んでいます。もし、成果のなかで気になる点や使ってみたい技術があれば、お気軽に森林研究所までお問い合わせください。研究員が丁寧に対応させていただきます。

また森林研究所では、一般の方への成果普及の場として毎年7月に関市のわかさプラザで「岐阜県森林研究所研究・成果発表会」を開催しています。研究員と直接議論することができるまたない機会ですので、令和2年度の発表会には是非お越しください。詳細は森林のたより6月号のイベントカレンダーに掲載予定です。

現場の声を聞くことは研究員にとっても貴重な機会です。現場の問題点・ご要望を研究課題として反映させるためにも、皆様の声を私たちにお届けください。

「森林のたより」編集委員 片桐 奈々

イベント情報

3月1日発行

連載

- 山の歳時記(175)
- 山のおじゃまむし(344)

森の名手・名人

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(86)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(84)

清流の国ぎふ森林・環境税

わがまちの森林・環境行政(39)

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

3月号
予定

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1716回 岐阜共販所 (初市) 1月14日	すぎ	3 m	16~18cm	12,400	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格
		4 m	16~18cm	11,500	—	
			20~22cm	13,600	—	
			24~28cm	13,000	23,000	
			30cm以上	11,500	21,000	
	6 m	16~18cm	14,600	—		
	ひのき	3 m	16~18cm	17,500	—	
		4 m	20cm以上	14,500	—	
			16~22cm	17,800	—	
			24~28cm	14,800	—	
30cm以上			14,500	53,000		
6 m			16~18cm	22,000	—	
第1292回 飛騨共販所 (初市) 1月15日	すぎ	3 m	16~18cm	12,000	—	
		4 m	24~28cm	11,000	—	
			30cm以上	11,000	15,000	
	ひのき	3 m	16~18cm	17,300	—	
		4 m	20~22cm	17,300	—	
			24~28cm	14,000	—	
			30cm以上	14,000	220,000	
			6 m	16~20cm	27,000	—
			まつ	4 m	24~28cm	9,000
	ひめこ	4 m		24~28cm	12,000	—
		5 m		30cm以上	14,000	—
				30cm以上	16,000	18,500
	くり	4 m	24cm以上	16,000	27,000	
第1622回 東濃共販所 (初市) 1月16日	すぎ	3 m	16~22cm	12,500	—	
		4 m	24~28cm	12,800	15,000	
			30cm以上元	13,200	21,000	
	ひのき	3 m	16~22cm	17,600	32,000	
			24~28cm	15,000	27,000	
			30cm以上元	18,500	60,000	
			13cm以下	9,000	—	
		4 m	24~28cm	15,500	27,000	
			30cm以上元	18,800	120,000	
			6 m	18~22cm	24,000	—
			まつ	4 m	22~28cm梁	7,000
30cm以上元	9,000	—				

木材市場

【商況】

スギ4m元木良材、中目上は強含み。スギ、ヒノキ構造材向けは、価格、需要量ともに堅調。スギ中目4mは強保合。ヒノキ並材は4m造材が有利。製紙向けパルプ材、大手工場納材は順調。発電向け未利用材は、継続して荷動き活発。原木在庫は不足傾向。(岐阜)

ヒノキ、スギ共に横ばいの展開で推移。枝虫、大節等、欠点材は相変わらず売りづらい。合板用カラマツ、スギが不足。ヒメコ材は出材量が乏しいが横ばい。広葉樹 ミズメ他良材は買気旺盛。(飛騨)

全般的に並材(16cm~22cm)横ばいで推移。ヒノキ元木、良材2m・3m・4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))には継続して旺盛。ヒノキ並材は3m・4m(16~22cm)は、システム販売の安定供給に伴い横ばい。スギは全般的に品薄、4m元木良材は継続して旺盛、並材は3m・4m(16~28cm)長良川木協、森の合板への供給(システム販売)に伴い横ばい。スギ、ヒノキ6m材需要減。(東濃)

製品卸売標準価格 (12月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000	(2,150)	→
	間柱	3000	105	30	1等	65,000	(614)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	(2,867)	→
		3000	120	120	特等	60,000	(2,592)	→
	柱	3000	120	120	(東濃松) 特等	65,000	(2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集 ウ成 ド材	柱	3000	105	105	国産5層	60,000	(1,980)	→
		3000	120	120	国産5層	61,000	(2,600)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (12月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	306	米 柾	へム(アラスカ産)	292
	コースト(目荒)	320	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

F☆☆☆☆ (エフ・フォースター)

木材用語一口メモ

Fはホルムアルデヒドの略。シックハウス症候群を引き起こす原因とされるホルムアルデヒドの発散量を☆の数で4段階に等級分けをする。☆☆☆☆は発散の少ない製品に表示される最上位の等級。建築基準法によるホルムアルデヒドを発散する建築材料使用面積制限において無制限に使用できる。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典

